

みやけの風

第 150 号

平成15年(2003年)11月15日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

いよいよ、ふれあい集会まであと1週間となり準備も大詰めです。雨が降らないことだけを祈って、これからは週間天気予報とにらめっこの毎日になりますが、今度の集会は島民の発表が多いので楽しみにしています。また、福祉車両の個別配車は37名もの方が利用することになりました。久しぶりの再会の風景が今から眼に浮かびます。

寒くなってきましたので風邪をひかないよう気をつけて過ごし、温かい格好をしてきてください。では、当日会場でお会いしましょう。

みんなの声

潮の匂い、三宅島の匂い

今年、4月の下旬、レストラン厨房裏で、ハイカー姿の5人連れに声を掛けられた。

「かたくりの群生地はどこですか」「右の道を5分程行けば、左側の丘にびっしり咲いていますよ」と答える。

避難後、色々な仕事に就いたが、満足できずにいた。「三宅島の人ですかあ、あと数年で帰られるんでしょう」、「42歳ですかあ、体力的にちょっと辛いかもねえ」などと言われながらも、めげずに就職活動を続けていた時、今、私の働く「村山温泉・かたくりの湯」のレストランのチーフに拾われた。「三宅島の人だろうが、俺が満足できれば一年でも二年でもいいから、働いてくれ」。涙がこぼれ落ちそうになった。

あれからもう1年半。またそろそろ、裏山の木々の葉が全部枯れ落ち、その隙間から山の稜線が見えてくることだろう。しかし、それは三宅島とはほど遠い風景だ。

冬でも青々と茂る椿の葉。その深紅の花の蜜を腹いっぱい吸おうと飛び交うメジロ

達。そして、なによりも、違うのは、西風に乗ってただよってくる潮の匂いが無いことだ。その匂いを嗅ぎたいと、2ヶ月に一度程、滞在帰島に参加する。

そして、今回こそが、滞在ではない、本当の帰島なんだと言う日が来た時、その時はチーフも喜んでくれることだろうと思う。

(武蔵村山市 築穴 一也)

ふるさとの夢

先日ふるさとの夢をみた。三本嶽の夢を・・・。

夕暮れになると三本嶽はまず、あか赤と染まる。やがて紫になり、黒くなって、その姿をくっきりと浮かばせる。天井には月がいる。

そんな光景をわたしは毎日みていた。

如何お過ごしですか。お元気でお過ごしですか。

早く帰り、その光の中にいたいね！元気で帰りましょうね！

島は私たちの帰りを、待っているのですから。(八王子市別所 沖倉 沖山 仙明)

第7回三宅島島民ふれあい集会会場のご案内

港区立芝浦小学校/芝浦幼稚園 〒108-0023 港区芝浦3-1-20

〔交通〕JR山手線・京浜東北線『田町駅』東口下車(海岸方向)徒歩5分、都営地下鉄浅草線・三田線『三田駅』下車徒歩7分、都バス(浜95系統、品川車庫～浜松町経由～東京タワー)都バス(田70系統、新宿駅西口～一の橋経由～田町駅東口)田町駅東口下車0分

Panasonicふれあいコンサート

松下電器では、2002年より、心のふれあいを大切にしたい、という希望から新日本フィルのメンバーが出張して行う「Panasonicふれあいコンサート」名づけた演奏会を企画しています。

今回、初めて「島民ふれあい集会」に参加させていただき、モーツァルト、ディズニー（星に願いを）、久石譲（天空の城ラピュタより）など親しみのある曲で皆様方と楽しいひと時を過ごせればと願っています。

また、島民合唱団「アカコッコ」の方々とも共演いたしますのでご期待ください。

（松下電器 田中典子）



第7回 元気で会いましょう! 三宅島島民ふれあい集会

2003年11月24日（月・振替休日）10：30～15：30

お気軽に作品をお持ちください （島民作品展）

集会も回を重ねるごとに、イベントテントや飲食テントをきりもりしてくださる方、前日準備に参加してくださる方や、島民発表をしてくださったりと、いろいろな形でたくさんの島民のみなさんの参加で集会をつくっています。島民作品も、そのひとつだと思っています。お気軽にお問い合わせください。

作品をお持ちいただけるかたは・・・。

前日お持ちいただける方は、午後1時より港区芝浦小学校の保育室で準備しているスタッフにお渡し下さい。

当日お持ちになる方は、事前に事務局にご連絡いただき、当日は受付・本部にお立ち寄りください。その後、作品展会場保育室にいるスタッフにお渡し下さい。

当日でもかまいませんのでみなさんの参加をお待ちしています。

（第7回三宅島島民ふれあい集会実行委員会）

お問合せは、三宅島支援東京センターへ TEL:03-3260-7573

はばたけ！三宅島火山灰プリント

三宅島観光協会では、今年6月1日に「三宅島火山灰プリントチーム」を立ち上げました。この事業は、避難中の三宅島の産業として、また、観光で三宅島へ来てくれるお客さんに体験してもらい、三宅島のお土産としてお店においてもらって、三宅島の復興に役立てればという思いで始まりました。

現在は、コースターをおもに作って、様々な機会にたくさんの都民の方に喜んでもらっています。三宅島をイメージしたデザインを島民自ら考え、型紙を作って布にステンシルでプリントしています。

今回、はじめてふれあい集会に参加して、実物を皆さんに見ていただきたいと思っています。当日、会場テントでお待ちしています。

（三宅島観光協会火山灰プリント事業担当 石井 節美）